



卓球交流会レポート 2004

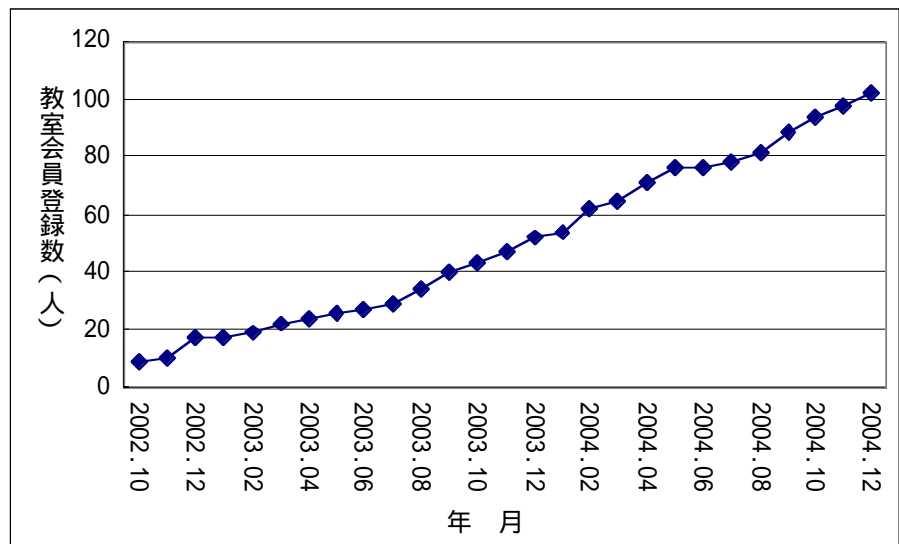
発行：NPO 法人卓球交流会 2004年12月17日

2002年10月11日に設立されたNPO法人卓球交流会の活動も、3回目の年度を終えようとしています（初年度：2002年10月11日～12月31日、次年度：2003年1月1日～2003年12月31日）。今年度はさらに、活動が多岐に渡ってまいりました。ここに、今年度行われた主な活動やニュースを報告致します。

定常型教室会員が増加

現在、静岡市内の4ヶ所で、毎週6コースの定常型卓球教室を開催している。

設立以降の定常型卓球教室への会員登録者数は、右のグラフのように増加している。今年度も着実に増加を続け、12月17日現在の教室会員登録者数は、102名となっている。



2003年12月～2004年5月、CSRアンケート調査の実施と、結果の公表

日本でも、企業の社会的責任（CSR=Corporate Social Responsibility）の重要性が高まる中、本会では、2003年12月から2004年1月にかけて、卓球の公認用具指定業者を対象に、「卓球に関する社会貢献事業調査」を実施した。また、この調査の結果についてはその後、次の3つで公表した。

- 1) 書籍「卓球ステップアップ術 発想を変えてみませんか？」（発行：静岡新聞社）
- 2) メールマガジン「卓球メールジャーナル」（発行：NPO 法人卓球交流会）
- 3) 冊子「卓球ステップアップ事例レポート」（発行：NPO 法人卓球交流会）

ご支援に感謝致します

**NPO 法人卓球交流会
賛助会員（団体）**

株式会社タマス
株式会社ジュウイック

他にも多数の方が個人会員として
賛助していただきました。

1月24日、9月11～12日、11月14日、静岡大学のスポーツ関連事業をサポート

静岡大学の以下の3つのスポーツ関連事業に、「後援」、または「協力」として、運営のサポートにあたった。



スポーツ体験フェスティバルの「ジュニア卓球教室」

1)1月24日、静岡大学教育学部・地域スポーツ研究会主催「スポーツ体験フェスティバル」(卓球交流会：協力)

2)9月11～12日、静岡大学公開講座「指導・競技経験が少ない人のための卓球指導法講座～部活動・地域クラブの部～」(卓球交流会：後援)

3)11月14日、静岡大学公開講座「指導・競技経験が少ない人のための卓球指導法講座～授業・講習会の部～」(卓球交流会：後援)

2月22日、6月20日、9月26日、静岡市社会人リーグで連続昇格

静岡市社会人リーグは、毎年3回行われる団体戦で、各部が4～5チームのリーグ戦で争われる。1部から25部まで存在する。卓球交流会からは、平成15年度には1チーム、平成16年度には2チームが参加した。これまで、2チームとも順調に昇格を続けている。各大会の結果は、以下の通り。

平成15年度後期大会(2月22日)

第20部 卓球交流会 2位

入れ替え戦に勝利し、第19部へ昇格

平成16年度前期大会(6月20日)

第20部 卓球交流会 A 優勝 第19部へ自動昇格

(新年度のリーグ再編成のため、再び第20部で試合)

第25部 卓球交流会 B 優勝 第24部へ自動昇格

平成16年度中期大会(9月26日)

第19部 卓球交流会 A 優勝 第18部へ自動昇格

第24部 卓球交流会 B 優勝 第23部へ自動昇格



平成16年度静岡市社会人リーグ(中期)を戦い終えた後の記念撮影

3月28日、toto助成事業「大人のための初心者ラージボール卓球交流会」開催

昨年度、本会では、toto(日本スポーツ振興センター)とヤマト卓球株式会社の支援を受け、静岡市内の3ヶ所の会場で「大人のための初心者ラージボール卓球教室」(参加費無料)を開催した。そして、2004年3月28日には、同事業の各会場の参加者とヒッティングパートナーなどが一同に会して交流を深めることと、参加者のさらなる上達を目的に、静岡大学体育館にて「大人のための初心者ラージボール卓球交流会」を開催した。



「大人のための初心者ラージボール卓球交流会」の様子

本イベントの様子は、同日の午後に、SBSテレビの「SBSニュース」で放送された。

3月31日、書籍「卓球ステップアップ術 発想を変えてみませんか？」を出版



「卓球ステップアップ術 発想を変えてみませんか？」の表紙

本会発行の週刊無料メールマガジン「卓球メールジャーナル」が元になり、「卓球ステップアップ術 発想を変えてみませんか？」(吉田和人編著、静岡新聞社発行、1,470円)が、3月31日に出版された。本書の出版については、「卓球レポート」「卓球王国」「静岡新聞」など、多くのメディアで取り上げられた。

本書では、各大学教員の専門的な視点から、卓球における「強くなる」「やる気を生む」「心が元気になる」「明るい社会を築く」ための新しい発想を、イラストなどを用いてやさしく紹介している。

「これまで知らなかった新しい視点がわかりやすく書かれていた」「この本を読んでやる気が湧いてきた」などの感想が、たくさんの読者から送られている。

4月～12月、卓球交流会代表の吉田が、ラジオにレギュラー出演

本会代表の吉田が、静岡のコミュニティラジオFM-Hi!(76.9kHz)に、2004年4月から毎週レギュラー出演した(2005年3月まで出演予定)。朝のワイド番組「Morning Wave」の「スポーツ発想革命」コーナーで、スポーツに関するさまざまな話題をやさしく紹介している。リスナーから「わかりやすくておもしろい」などの感想が寄せられている。

5月22日～23日、温泉卓球交流会 in 伊豆を開催

5月22～23日に、伊豆の戸田村で第3回温泉卓球交流会を開催した。本会の賛助会員(個人)でもある稲木博文さんが経営するペンション「へだ岬」での新鮮な磯料理と、ひのきの香り溢れる展望風呂は素晴らしく、参加者の皆さんはとても満足した様子。また、静岡市周辺からの参加者だけでなく、戸田村卓球愛好会のメンバーも練習に加わり、交流の輪が広がった。



温泉卓球交流会 in 伊豆での入浴後の食事

この温泉卓球交流会は、会員の方などが心待ちにする恒例のイベントとなりつつある。

6月8日、卓球メールジャーナルの読者数が1,000名を突破!

本会発行の週刊無料メールマガジン「卓球メールジャーナル」の読者数が、6月8日に、1,000名を突破し、これを記念したプレゼント企画を行った。創刊以降の読者数は着実に増加しており、12月15日現在の読者数は、1,157名となっている。

7月31日には、メルマガ配信サイト「まぐまぐ」が発行するメールマガジン「ウィークリーまぐまぐ」にも「おすすめメールマガジン」として紹介された。

卓球メールジャーナルの登録は、専用サイト(<http://www.t-mj.com>)から

9～10月、本会のイメージキャラの愛称を公募。11月25日、「ピンぴょん」に決定！



ピンぴょん

9月の上旬から10月末まで、本会イメージキャラクター（左図）の愛称を公募した。新聞、雑誌、テレビ、Webサイトなど、多くのメディアで公募情報が紹介されたこともあり、全国から3,086もの作品が集まった。その中から、最優秀賞に選ばれたのは、「ピンぴょん」。

「ピンぴょん」と応募した3名の中から抽選で、大阪府の田村さんに賞金1万円を贈呈した。なお、特別賞受賞作品は、「ピンポくん」「ピンポ」「ピッポ」「コンコロポン」「往復ピン太君」の5点。それぞれの作品に応募した方の中から抽選で1名（計5名）に、本会オリジナルTシャツを贈呈した。受賞作品の発表についても、全国のテレビ、雑誌などに広く紹介された。

10月31日、ステップアップ講座「発想を変えてみませんか？」を開催

10月31日に、「対応型ボールゲームのためのステップアップ講座～発想を変えてみませんか？～」を、静岡市のパルシェ貸会議室にて開催した。講師は、本会代表で、静岡大学助教授、日本卓球協会スポーツ医科学委員会委員、日本オリンピック委員会強化スタッフも務める吉田和人。卓球などの対応型ボールゲームにおける発想転換の方法について、科学的な視点に基づき、卓球の事例を紹介しながらやさしく解説した。千葉県、愛知県など、県外からも多数の方が参加した。この講座の様子は、卓球専門誌「卓球王国」でも紹介された。



「対応型ボールゲームのためのステップアップ講座～発想を変えてみませんか？～」の様子

12月11日、忘年会を開催

12月11日、静岡市の「さかな屋」にて、本会の忘年会が行われた。設立されてから2年余りが経ったが、卓球交流会としては初めての忘年会であった。主に、教室会員の方が参加し、普段顔を合わせることがない別の教室の会員同士が交流を深める場にもなった。ビンゴゲームなども行われ、大いに盛り上がった。

—NPO 法人卓球交流会事務局—

〒422-8004 静岡市国吉田5丁目10-21-201（担当：山田耕司）

電話・ファックス：054-208-3060

e-mail：tt-npo@nifty.com 公式サイト：http://www.table-tennis.jp

卓球メールジャーナル専用サイト：http://www.t-mj.com